特殊器具と追加器具

必要な時にだけ自動的に出現する、特殊な器具もあります。こうした特定のタイミングでのみ出現する器具を「追加器具」といいます。出現した追加器具を、Wiiリモコンのカーソルでポイントし、Aボタン、またはBボタンを押せばその器具が使えるようになります　また、患者に突然、心臓停止が発生した際、その蘇生手段として使用する“カウンターショック”と呼ばれる特殊な器具も存在します。

●保護テープ



保護テープを選択した状態でAボタン　またはBボタンを押したままWiiリモコンのカーソルをスライドさせると、ボタンを押し始めた箇所を始点として　保護テープが伸びて行きます。この状態のままカーソルをスライドさせることで　保護テープを貼る長さ、角度等が調整できます　ボタンを離すと、引き出した保護テープが、そこに定着します。

POINT

切開した外皮を縫合し、最後の仕上げを行う際に追加器具として出現します。縫合痕に沿ってキレイに貼ってください。長すぎたり、短すぎたり、縫合痕から外れないように注意しましょう。なお、追加器具は、これ以外にも存在します。使い方はそれぞれですが、助手のアドバイスを参考にして、臨機応変に対応してください。

●カウンターショック



患者に突然、心臓停止が発生した際、その蘇生手段として使用する器具がカウンターショックです。カウンターショックは、患者が心停止の状態に陥ると自動的に画面に出現します



STEP 1　パドルを胸部に押し当てる

Wiiリモコンをセンサーバーに向け　センサーバーの方向へと押し出すと、2つのパドル（カウンターショックの装置）が、患者の胸部へと近づいて行きます。パドルが完全に胸部と密着するところまで　Wiiリモコンを押し出してください。

STEP 2　電気ショックを流す

パドルが胸部に密着すると、チャージメーターが出現し、電力のチャージが始まります。この時、押し出していたWiiリモコンを手前に下げてしまうと、パドルが胸部から離れ、チャージが止まるので注意してください。チャージメーターが、ちょうど緑のゾーンに達した瞬間にヌンチャクのZボタンとWiiリモコンのBボタンを同時に押すと、電気ショックが患者に流れ、心臓を蘇生させることができます　カウンターショックは、冷静に正確に使うようにしましょう。

限界を超えた能力“超執刀”



物語の進行と共に、月森とキミシマが使えるようになる特殊能力が「超執刀」です。超執刀とは、一部の医師のみが持つ特殊な執刀能力で、困難な手術を成功へと導く鍵となります。ただし、1回の手術中に1度しか使うことができません。月森とキミシマは、それぞれ超執刀を発動した際の能力が異なります。

月森孝介

月森の超執刀能力は、「時間の流れを遅くする能力」です。病状の進行、ギルスの動きなどが全てスローになるので、バイタルの低下より早く、多数の処置をこなすことができるでしょう。

ミラ・キミシマ

キミシマの超執刀能力は、「患者のバイタルを引き出す能力」です。キミシマの超執刀発動中は、患部処置をするだけで、回復薬に頼らず同時に患者のバイタルが回復するようになります。

●超執刀の発動方法

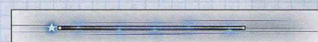




ヌンチャクのCボタン、またはZボタンを押すと、Wiiリモコンのカーソルに「☆マーク」が表示されます。この状態のままBボタンを押し、Wiiリモコンのカーソルをスライドさせて一筆書きの五芒星（ごぼうせい）を手術画面に描いてください。この時、より大きく、正確に五芒星を描くことが大切です。五芒星が小さかったり、形が大きく崩れていると超執刀は発動しません。五芒星を描き切った所で、WiiリモコンのBボタンを離します。この瞬間、五芒星の形が良ければ、超執刀が発動し、ある程度の時間、月森、キミシマ、それぞれの超執刀効果が働くようになります。

●超執刀ゲージと超執刀の持続時間

超執刀発動中は背景が白黒になり、バイタルの下に“超執刀ゲージ”が出現します。超執刀ゲージは、超執刀の発動時間を表すもので、超執刀中は自動的にこれが減少し、ゼロになると、超執刀は終了して通常の状態に戻ります。超執刀ゲージの初期値は、五芒星の描き具合に応じて変化します。より大きく正確に五芒星を描いた時ほど、それによって発動した超執刀のゲージの初期値が大きくなり、それだけ超執刀の持続時間も長くなります。


◀超執刀ゲージ